

もうひとつの日本画

近年、南画がさやかなブームとなっています。深い教養に対する憧れだけでなく、人里離れた渓谷に高殿楼閣を構えて花鳥や景色を愛で、書籍に親しみ、気の合う人と酒を酌み交わす、そういった文人たちの理想の生活に対する羨望のまなざしは、変化の大きな現代社会に生きていくからこそ強まっているのかもしれない。中国の南宋画に由来するこの絵画様式は、日本では池大雅や与謝蕪村といった職業画家や俳人たちが魅了し、南画としてのびやかな独自の世界を築いてきました。南画は明治に入ると西洋絵画などに押されて徐々に下火になりかけますが、富岡鉄斎の登場や洋画家たちの間でも南画を楽しむ人々も登場しました。

この近代において、南画の普及に尽力した一人が小室翠雲（1874-1945）でした。師である田崎草雲（1815-1898）から南画の将来を託された翠雲は南画復興のため、日本南画院に参加して東西南画家の融合を図り、一方で南画鑑賞会を設立、機関誌『南畫鑑賞』の発刊、さらには全国での南画講習会など愛好者のすそ野を広げることに尽力しました。

今回の展示では、小室翠雲の明治から昭和にかけての作品、そして翠雲と同じ時代に生き、花鳥画の存続と復興に励んだ池上秀敏（1874-1944）を中心に紹介します。生前の知名度に比べ、二人の画家を知る人が今日では少なくなりましたが、多様な日本画世界を照らした彼らの魅力を是非ご堪能ください。

■会期中のイベント（入館チケットが必要です）

◎学芸員によるミュージアム・トーク

3月12日（日）、5月13日（土）
いずれも午後2時から約30分

◎学芸員による絵画のお話スライド・トーク

展示室にて絵画のよま話に花を咲かせます。

4月16日（日）①上手に絵を描く方法って？

6月17日（土）②鑑賞—人たちがっていいじゃない。

いずれも午後2時から約40分

※事前申し込み不要。15名様を超えた場合は午後3時に再度お話ししますので、それまでの間、近隣にてお買い物等をお楽しみください。

サイトウミュージアム

三重県松阪市魚町 1807-1 〒515-0082 Tel. 0598-21-1111



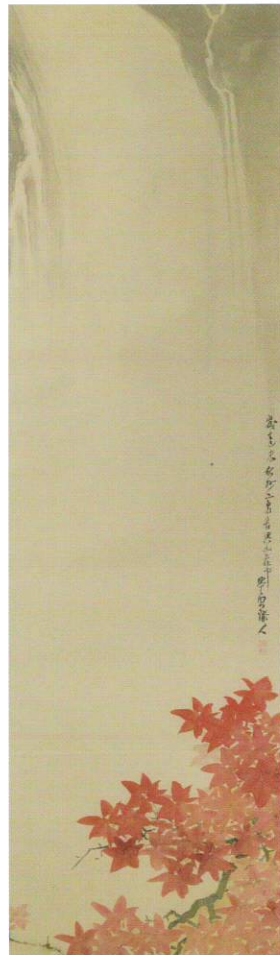
池上秀敏《群鶴図》制作年不詳 絹本着色



池上秀敏《波清双燕図》制作年不詳 紙本墨画淡彩



小室翠雲《青緑天際飛鶴図》制作年不詳 絹本墨画淡彩



小室翠雲《白水紅葉》1932（昭和7年）絹本着色



交通のご案内 | 近鉄・JR 松阪駅南口より徒歩約8分。
お車で越越しの際は近隣の有料パーキング等をご利用ください。

三重県松阪市魚町 1807-1 〒515-0082
Tel. 0598-21-1111

■次回展覧会予告
没後5年 村上肥出夫 熱情の絵画
2023年7月28日（金）—10月29日（日）

■友の会人會のお誘い
お申し込みの日から1年間、何度でも鑑賞いただけます。小冊子は展覧会ごとに1冊進呈。お一人様年会費2千円。ご入会、ご継続時にお好きなポストカードを1枚進呈します。



小室翠雲《瓊汗掃塵図》制作年不詳 紙本墨画淡彩



サイトウミュージアム
SAITOU MUSEUM

<https://www.matsusaka-saito-museum.com/>